

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成 20 年 3 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・ 火口や噴気の状況（図 1～3）

12 日に、北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。

溶岩ドームに点在する噴気孔では、弱い噴気活動が続いていました。赤外熱映像装置¹⁾による観測では、噴気や変色域に対応した地熱域が認められましたが、これまで（前回：2007 年 7 月）と比較して、火口の状況や地熱域の分布に特に変化はありませんでした。

なお、熊落し火口を含む溶岩ドーム山頂部では噴気は認められませんでした。

- 1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。



図 1 アトサヌプリ 全景
(2008 年 3 月 12 日 図 2 の①方向上空より撮影)

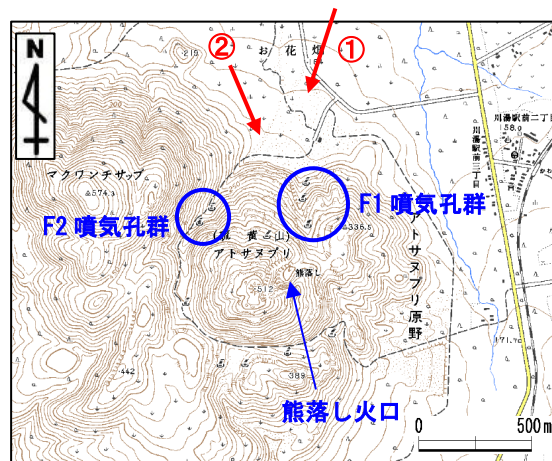


図 2 アトサヌプリ 周辺図

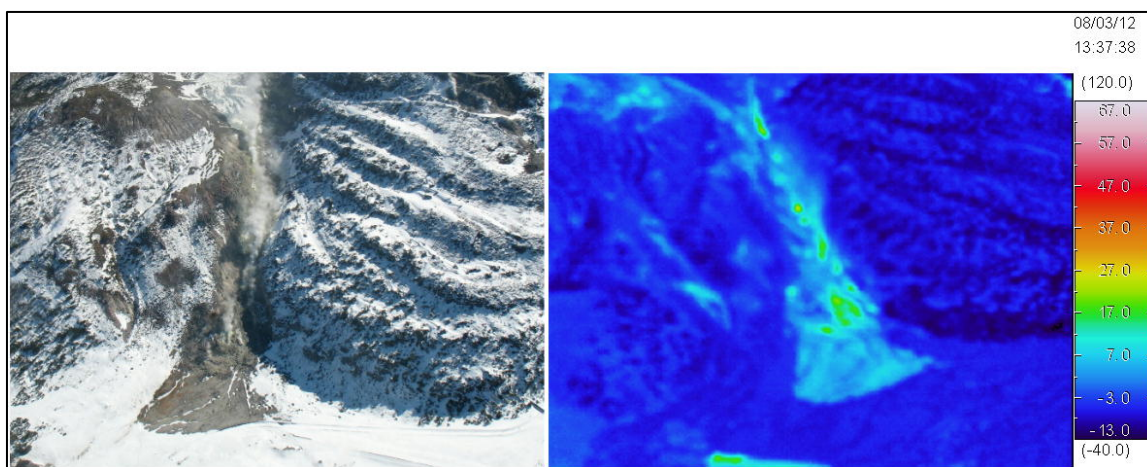


図 3 アトサヌプリ 赤外熱映像装置¹⁾による F-1 噴気孔群周辺の地表面温度分布
(2008 年 3 月 12 日 図 2 の②方向上空より撮影)

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.sapporo-jma.go.jp>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。